

6

ボンネットロックステーを解除し、ガスダンパーの上側のピボットケースも押し込んで装着し完成です。



7

1. 全てのネジの締め忘れが無いかを確認します。
2. ボンネットを上下させ、スムーズに動くことを確認して下さい。
3. ボンネットを閉める際には、開閉角の60%下げた状態で急激にガス圧が低下する位置がありますので、この位置からボンネットを落下させて閉めて下さい。



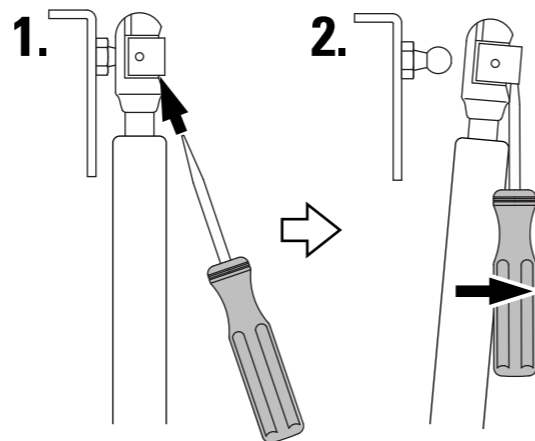
ガスダンパー取り外しに関して

ガスダンパーの上下を間違えたり、補修品に交換する等の脱着作業が必要な場合には、以下の要領に従いボンネットダンパーを取り外して下さい。

1. マイナスドライバーを先端の金具とプラスチックの部品の間隙に差し込み
2. ガスダンパーとマイナスドライバーを矢印の方向に引っ張り取り外して下さい。

※ガスダンパーにガス圧がかからないようにボンネットを軽く持ち上げる事と、ボンネットダンパーのブラケットに力をかけず、マイナスドライバーだけを矢印方向に引っ張るようにするのがコツです。

※ ジョイント部の破損に注意して下さい。



Bonnet Damper ボンネットダンパー No.MCC2960 取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
Tel. 03-3531-8151 Fax. 03-3531-8152

この度はオートエクゼ“ボンネットダンパー”をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、取り付けの際には本書に従って作業を進めていただきます。また、作業終了時には本書を必ずお客様にお渡し下さい。

適合車種

ビアンテ(CC系)

！ ご注意(作業者および使用者の方へ)

- 本製品を適合車種以外に使用しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品を加工したり、改造しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 取付けは、作業に適した平らな場所で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車止めをし作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車が冷えた状態でエンジンを止め、作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、キーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーの端子を外してから作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け作業は必ず2人以上で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品をご使用中は、定期的に製品の状態を確認し、異常が認められた場合は使用を中止して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ボンネットの開閉時は作動範囲内の安全を確認して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ガスダンパーは経年変化によって反発力が低下します。反発力が低下した場合は補修用ガスダンパー(別売)と交換して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 火中に投げると高温によりオイルやガスが急激に吹き出し、けがをすることがあります。
- 分解したり切断したりしないでください。押しつぶさないでください。高圧の窒素ガスが封入されているため、シリンダー内のオイルやガスが急激に吹き出したり、ロッドが急激に飛び出し、重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 汚れた場合はかわいた布でやさしく拭いて下さい。シンナーやベンジン等は使わないで下さい。
- ガスダンパーは、完全密封構造ではないために自然放置状態でもシールからの透過現象による微量なリークがあり、使用年数が経過するにつれ、反力が低下します。
- ガスダンパーに強い衝撃を与えないでください。ロッドの曲がりやシリンダーチューブの凹みなどを生じ作動不良の原因となります。
- ロッドに傷、打痕や塗料などの凹凸をつけないでください。また、ロッドに錆を生じさせないよう注意してください。シールが損傷し、反力低下の原因となります。

ガスダンパーは必ず太い側が上になるように取り付けて下さい。
向きを逆に取付けると、ボンネットが破損します。

！ ご注意(使用者の方へ)

ボンネットの開閉は丁寧に行って下さい。本製品を装着することによってボンネットにかかる力が変化し、ボンネットが変形することがあります。

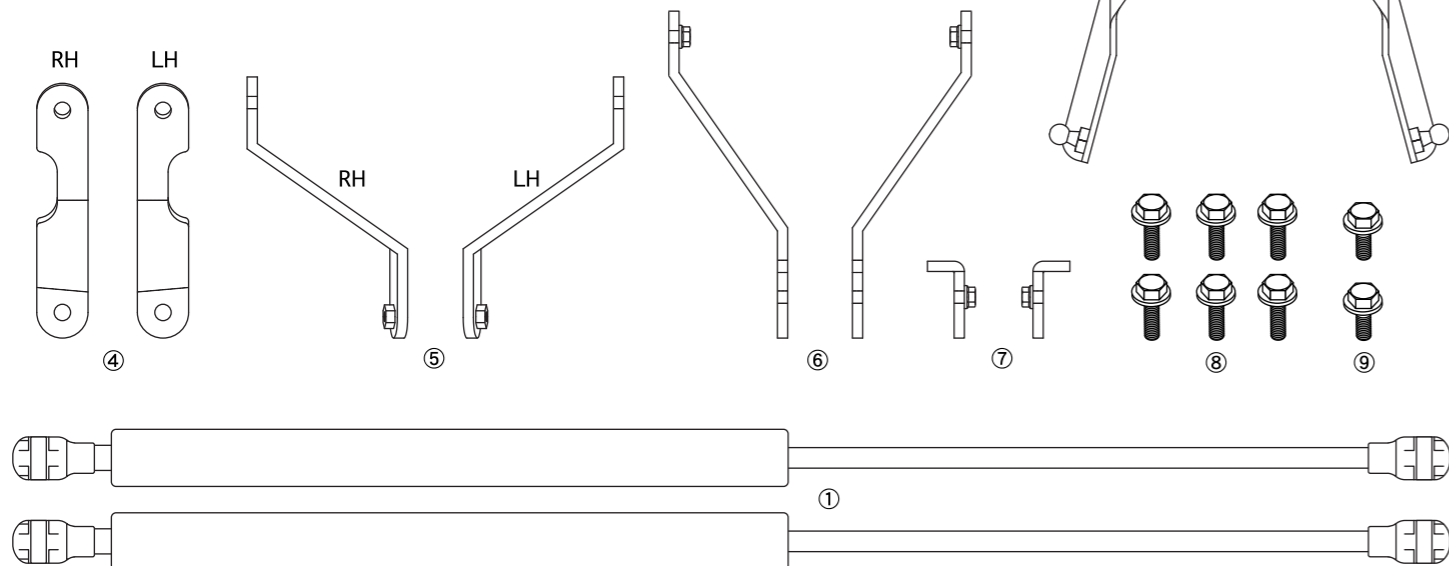
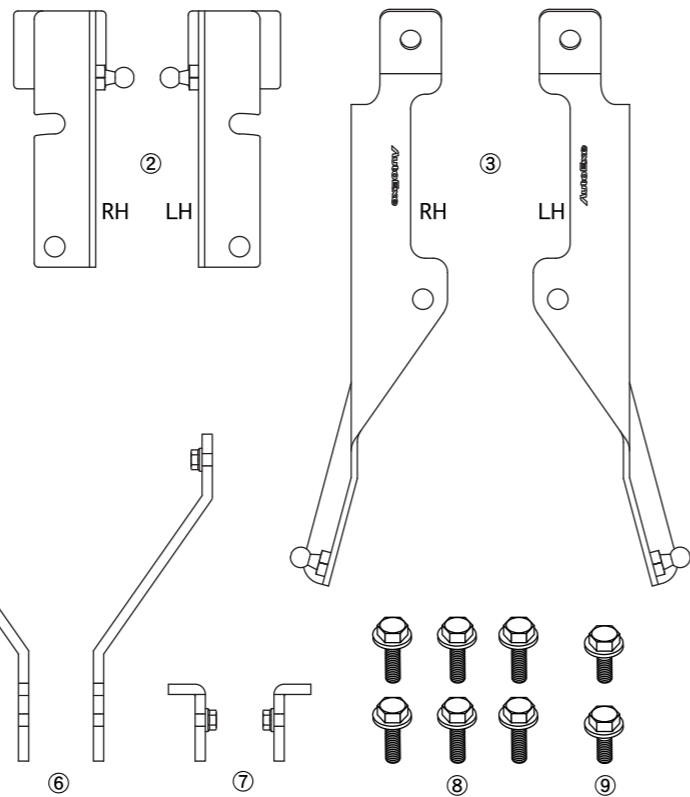
1度でもヒンジ部に無理な力がかかると取付け面が変形しボンネットが浮いた状態になることがありますが、このような状態になった場合も当社は一切保証しかねます。

上記の内容を納得された上で、ユーザー様のご責任の範囲で正しくお使い下さい。

また、本製品を使用した事によって発生したいかなる車両の不具合も当社は一切保証しかねます。

構成部品

No.	部品名称	仕様	数
①	ガスダンパー	高圧窒素ガス封入式	2
②	マウントブラケットUPR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1
③	マウントブラケットLWR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1
④	補助A LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1
⑤	補助B LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1
⑥	補助C	スチール製黒亜鉛メッキ	2
⑦	補助C裏当て	スチール製黒亜鉛メッキ	2
⑧	M6ボルト	M6×25	6
⑨	M6ボルト	M6×10	2

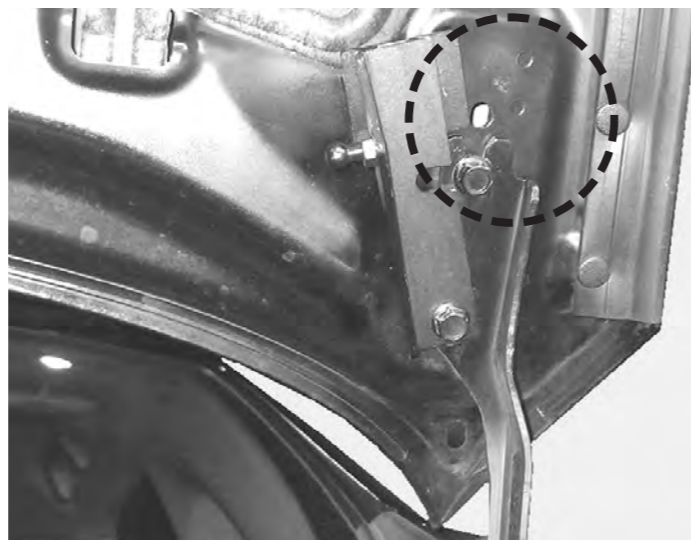


装着手順

1

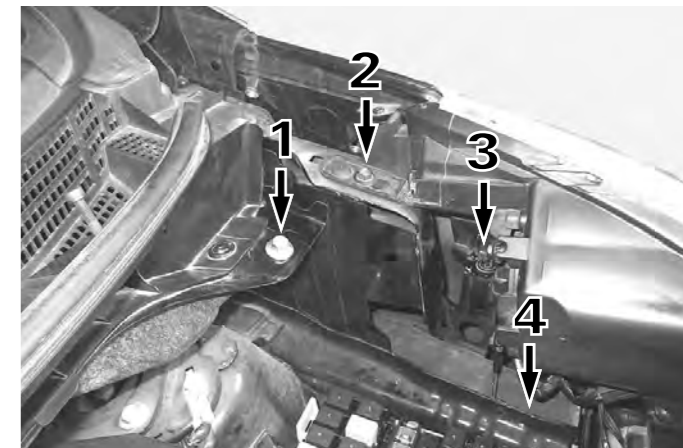
※以下装着手順画像は左側を示しています。
右側も同様に作業して下さい。

1. ボンネットを開けて、ボンネットロックステーをかけます。
2. ボンネットとボンネットヒンジを固定しているボルト2本の内、下側のボルトを取外します。
3. ②マウントブラケットUPRの裏側に貼付してある両面テープの剥離紙を予め剥がしておきます。
4. ②マウントブラケットUPRを2.で取外したボルトで軽く締め込み、仮組みします。
5. ボンネット裏側の破線部分を中心に中性洗剤の水溶液等を使用して脱脂します。
6. ボンネットとボンネットヒンジを固定している上側のボルトを緩め、②マウントブラケットUPRを挟み込み固定します。



2

③マウントブラケットLWRを矢印1～4の箇所に取付けます。



3

②に示されている3の位置の純正ボルトを外し、⑧M6ボルトを使用して⑤補助Bを仮付けします。
この⑤補助Bは、③マウントブラケットとの位置が決まってから最後にボルトを本締めします。

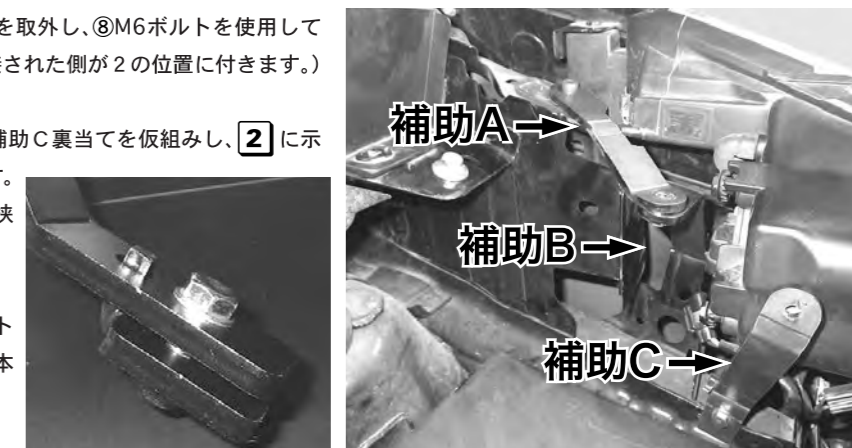


4

②に示されている2の位置の純正ボルトを取外し、⑧M6ボルトを使用して④補助Aを仮付けします。(スペーサーが溶接された側が2の位置に付きます。)

次に、⑥補助Cに⑧M6ボルトを使用して⑦補助C裏当てを仮組みし、②に示されている4の位置付近のリブに仮付けします。
⑦補助C裏当てと⑥補助Cで車体のリブを挟みます。

この④補助Aおよび⑥補助Cは、③マウントブラケットとの位置が決まってから最後に本締めします。



5

③マウントブラケットを写真のように取付けます。バルクヘッドに固定するM8ボルトは純正品をそのまま使用します。
④補助A、⑤補助Bと③マウントブラケットの固定には⑧M6ボルトを使用、⑥補助Cと③マウントブラケットの固定には⑨M6ボルトを使用して下さい。
⑥補助Cの車体側取付け位置は右の写真を参考にして調整して下さい。
その後全てのボルトを本締めします。
①ガスダンパーのロッド側のピボットケースを押し込んで装着します。
締め付けトルク
M6ボルト(商品付属ボルト⑧、⑨) 5N・m
M8ボルト(純正ボルト) 12N・m

